

高等部後期校内実習が行われました

11月19日(月)～30日(金)までの2週間の期間、高等部では校内実習に取り組みました。

高等部の後期校内実習は、①パッキン作業(校内清掃を含む)②エコキャップ洗浄分別作業 ③カレンダー包装の3班に分かれて実習を行いました。

パッキン・清掃班では、31,007枚のパッキンの細かな作業に集中して取りくみ、依頼された会社へ納入しました。また、校内の清掃も行い、普段できない細かなところの清掃にまで取り組むことができました。

エコキャップ班では約65.6Kgのボトルキャップを水で洗い、丁寧に水をふき取り、個数を数えるなどの作業を28,200個行い、寄贈を行うための準備をみんなで協力して取り組みました。

カレンダー班では、町内のみならず近隣の地域の銀行からもお預かりした約15,839枚のカレンダーを丁寧にビニール袋に包装し、各銀行の各店舗ごとに納入をしました。年末、各店舗の店先やATMコーナーに置かれています。

外部から委託された作業に取り組む班もあり、普段より緊張して作業に取り組んでいた生徒たちの姿が印象的でした。

実習では作業量をこなすことも大切ですが、一つのことに集中して取り組む姿勢や、周囲の人との望ましいコミュニケーション方法や態度を学ぶことも大切な学習目標の一つです。2週間の校内実習をやり遂げた生徒の表情は、達成感にあふれている様子が見られました。



細かな作業に集中して取り組むパッキン・清掃班



たくさんのペットボトルキャップを数えるエコキャップ班



カレンダーを折らないようにと丁寧に作業を進めるカレンダー班